

どちゅんッ♡♡♡——今までになくずっしりと重いもので突かれながら、片胸の環をぐいッと引っ張られる。今の声で、誰に犯されているかはわかった。

村一番の乱暴者である、あの男だ——。

筋肉の盛り上がった、ひげ面の彼の姿を思い浮かべる。その自分との体格差に、今まで何度泣かされたかわからない。

「まだ足りねえな。おい、お前、そっちを引っ張れ。お前はそっち」

彼は自分の正体を隠す気もないらしく、周囲の男らへそんなことを言うと、ふたたび少年の腰骨を掴みなおす。

左右から別々の男に胸の鉄環をぐいぐい引っ張られながら、ふたたび重い突き上げが開始される。

「ああッ♡♡あ”ああッ♡♡♡♡あ”あッ♡♡♡」

両胸からの悦楽と後孔を穿たれる刺激とが体内でかち合い、ひと突きごとに気を失う。

ぐぼッ♡♡ぐぼッ♡♡♡ぶぼッ♡♡——

太すぎるものが入り出す場所からおびたらしい水音があがり、貫かれすぎたそこがぱっくりと開いたままのような感じがする。そんな場所をぐちゅぐちゅと行き来され、いたずらに濡れそぼつ感覚ばかりが増幅する。